

早川二郎 著 『日本歴史』 昭和十九年第三月生れ、昭和十一年十一月

八月没（六十九歳）。本名六朗氏幹。筆名大駒鶴、牛村壽雄、木崎壽雄、慈生燐。昭和五年東京外國語語文教諭講師等。七年カツア（日本）ローラン文化講師、第一冊（昭和十一年）を以て免退。奥秩父將監小屋にて隠れ死を遂げた。當時のナルクス主義文學を行表する一人。

著書『日本王室史』（昭和八年十一月、白鶴社）、『日本古物

史』（昭和九年五月十九日、白鶴社）、「雅物論」（昭和十一年五月）、「日本古物考略」「雅物論」（昭和十一年六月）、『古代社會史』（昭和十一年六月）、『日本文化史ノ通説』（昭和十一年七月）、『日本藝術』（昭和十一年九月）、『日本藝術』（昭和十一年九月）、『日本文化史ノ通説』（昭和十一年十一月）、『日本藝術』（昭和十一年十二月）、『日本藝術』（昭和十一年十二月）、『日本藝術』（昭和十二年一月）、『日本藝術』（昭和十二年二月）、『日本藝術』（昭和十二年三月）、『日本藝術』（昭和十二年四月）、『日本藝術』（昭和十二年五月）

著『日本古物考略』（昭和十一年六月）、『日本藝術』（昭和十一年七月）、『日本藝術』（昭和十一年八月）、『日本藝術』（昭和十一年九月）、『日本藝術』（昭和十一年十月）、『日本藝術』（昭和十一年十一月）、『日本藝術』（昭和十一年十二月）、『日本藝術』（昭和十二年一月）、『日本藝術』（昭和十二年二月）、『日本藝術』（昭和十二年三月）、『日本藝術』（昭和十二年四月）、『日本藝術』（昭和十二年五月）

著「新日本藝術」（昭和十二年七月）、『日本藝術』（昭和十二年八月）

著「日本藝術」（昭和十二年九月）、『日本藝術』（昭和十二年十月）

著「日本藝術」（昭和十二年十一月）、『日本藝術』（昭和十二年十二月）

著「日本藝術」（昭和十三年一月）、『日本藝術』（昭和十三年二月）

著「日本藝術」（昭和十三年三月）、『日本藝術』（昭和十三年四月）

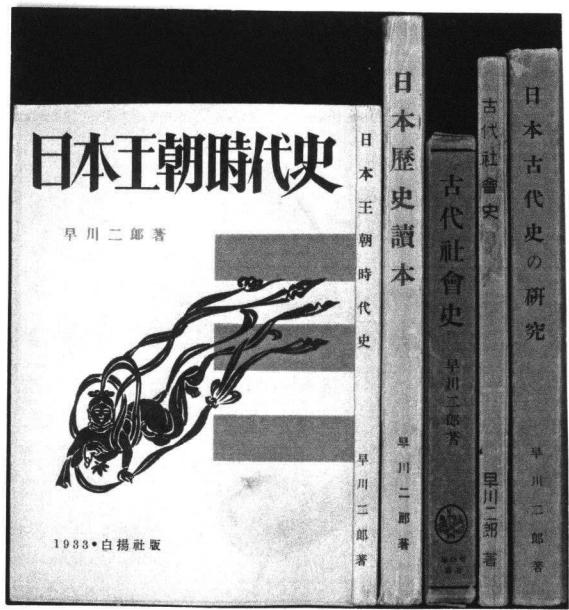
著「日本藝術」（昭和十三年五月）、『日本藝術』（昭和十三年六月）

著「日本藝術」（昭和十三年七月）、『日本藝術』（昭和十三年八月）

著「日本藝術」（昭和十三年九月）、『日本藝術』（昭和十三年十月）

著「日本藝術」（昭和十三年十一月）、『日本藝術』（昭和十三年十二月）

著『日本歷史』（昭和九年三月五日、白鶴社）、「向盤物讀文化」（カガミコトノタヌキ）『日本歷史』（櫻木弘毅共譯、昭和十一年八月）



（「支那の社會」）、ル・カントンナード著『支那社會時代の土壤制度』（附錄・レポート）の『支那社會』（昭和十一年五月十五日白鶴社）、サナアロナ著『支那社會史—前資本主義時代』（昭和十一年六月十五日白鶴社）、スザエトロフ著『明治維新への展望』（昭和十一年八月五日白鶴社）、サンアロナ著『近代支那社會史』（昭和十一年十一月十六日白鶴社）等。